

花卉園芸学研究室で学んだこと

花卉園芸学研究室学部4年

木下希美

柏の葉キャンパス花卉園芸学研究室では、渡辺均先生をはじめとする教職員と技術職員の方々にご指導をいただきながら、現在学生7名、研究生1名が研究や栽培、生産技術等の習得に励んでいます。研究内容は幅広く、学生のを例に挙げますと花色の生理的機構、園芸作物の生理障害などがあり、また花に関するもののみならず芝の耐乾性や薬用植物の利用、評価など花以外の植物についても研究しています。週に一度、花苗や薬用植物などの栽培、管理や生産技術などを学ぶことができる実習が行われ、座学や実験だけでは身に着けることのできない知識、技術を学び、実践しています。

私がこの研究室に配属されてからもう1年が経ちました。研究室に入ったばかりのころは、授業で学んだ知識はありましたが実際に植物を育てる機会があまりなく、わからないことだらけでした。1年間、先生方、先輩方に沢山のことを教えていただき、今では後輩が入ってきて教える側になりました。だんだんと卒業が近づいてきましたが、後輩に引き継ぐべきことを引き継いでいきたいと思います。

私がこの研究室で学んだことは沢山あります。まず一つ目にゼミでの論文の読み方と発表の仕方を学びました。当研究室では週に1回ゼミがあり、自身の研究やそれに関する論文を読み、それをパワーポイントにまとめ発表しています。最初に難しいと思ったことは、自身の研究に関する論文を探すことです。自身の研究がどのような目的を持っていて、今どのような情報が必要なのか。それを考えて論文を探すことが難しいと感じました。また、自分の伝えたいことをわかりやすく相手に伝えることも難しかったです。いくつかの物事を伝える順番、図表の使い方など工夫できる点とそのやり方を学びました。ゼミではお互いに疑問点を質問し合ったり、先生方からフィードバックをいただけるので、知識や植物、研究についての考えを深めることができました。

そして二つ目に、植物の栽培、管理について学びました。先ほども述べたように、あまり植物を育てる経験をしてこなかったのが、実験材料を作るために播種

の段階から植物を育て、特性の異なる様々な植物を管理することは初めてのことでありました。実験に関しては、植物を育てるにあたり何をすればいいのか、そのために何を用意すればいいのかということから先生、先輩方に教えていただき、まずやってみようという気持ちで栽培を始めました。最初は失敗もしましたが、だんだんと何をすればいいか判断ができるようになり、植物の変化に気付けるようになりました。また、実験以外でもハウス内で植物を管理などしているのですが、管理においては灌水、気温、光量の調節など、考慮すべきことが沢山ありました。水が足りないで萎れてしまい、与え過ぎて根腐れを起こしてしまいます。植物によって、季節によって灌水の方法や灌水量を変え、遮光などで室温や光量の調節を行ないました。難しさもありましたが、植物が成長していくのを見ると、植物を育てることにやりがいと面白さを感じることができました。

以上の二つ以外にも、研究室に入り初めて出会った人と協力して何かを達成したり、園芸業界の沢山の方と会う機会があったりと、植物だけではなく人との関わりについても今までにない経験をさせていただきました。

この1年間で今まで触れて来なかった多くのことを学び経験してきましたが、まだまだ自分には足りないと感じています。卒業するまでに吸収できることを沢山吸収し、卒業後も研究室で得たものを生かしつつ、また学び、新たなモノを創っていききたいと思います。



研究室メンバー